報道関係各位　　2016 年 2 月 12 日

認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク、
1 型糖尿病の「根絶」を目指す【1 型糖尿病研究基金】において、第 9 回研究費助成課題 3 件（研究助成額合計 900 万円）の採択を決定。佐賀県庁のふるさと納税を財源として過去最高の助成額へと拡大。

---

1 型糖尿病の根治を目指す認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク（代表：井上龍夫、事務局：佐賀市）では、「1 型糖尿病研究基金」よりこの度 9 回目となる研究費助成課題を採択致しました。

一刻も早い根治の実現のために、2008 年から先進的研究へ助成

突如膵臓内の膵ベータ細胞が破壊されインスリンを作る能力が失われてしまう 1 型糖尿病は、インスリンの補充を一生欠かすことができません。1 日 4 回程度の注射やインスリンポンプといった小さな機器によって継続的に生涯インスリンを補充することが現在においての治療とされています。生活習慣由来の 2 型糖尿病と原因も治療法も異なることや発症率においても希少性が高いなど、社会的な認知度の向上と理解の醸成と共に、一刻も早い「根治」の実現により患者と家族を生涯の苦痛から解放することが望まれています。2005 年、日本 IDDM ネットワークは、「1 型糖尿病研究基金」を設立、2008 年以降、合計 17 件（2100 万円）に先進的な研究に取り組む研究者や団体へ研究費の助成を行ってまいりました。

今回の財源は佐賀県庁のご協力による寄付先指定の『ふるさと納税』

この度、9 回目を数える助成は、画期的な NPO 等支援策に取り組む佐賀県庁のご協力のもと、『日本 IDDM ネットワーク指定のふるさと納税』 による寄付金を財源としております。佐賀県のふるさと納税は、応援したい NPO 等を指定して寄付することができ、寄付額の 95%が指定された NPO 等へ交付される仕組みです。「自分がした寄付を有効に使って欲しい」と望む意志ある寄付者にとって支援の形が可視化できるとされ、好循環を呼んでいます。日本 IDDM ネットワークはこうした佐賀県の素晴らしい仕組みを今後も積極的に活用させていただきたいと思っております。

今回は助成金総額を 900 万円とし、「iPS 細胞による再生医療」を重点課題として研究費助成課題を募集致しました。結果、以下の 3 件を採択、決定致しました。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究課題】
課題名： iPS 細胞由来組織前駆細胞を利用した動物体内での膵臓作成法の開発
研究代表者： 東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター 山口 智之 特任准教授
助成金額： 100 万円

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究概要】
膵島移植は 1 型糖尿病の有効な治療法の一つですが、一方で、慢性的なドナー不足は非常に大きな問題です。この問題を解決すべく、我々はブタなどの動物体内でヒト iPS 細胞からヒトの膵臓を再生させ、膵島移植治療に用いることを目標に研究を行っています。そして、小動物（マウス ラット）を用いた研究では、iPS 細胞から動物体内に膵臓を再生し、膵島移植による糖尿病治療のモデルを示すことに成功しました。本研究では、この手法を応用したヒトの糖尿病治療を実現する為に、より安全性の高い膵臓再生技術の開発を目指します。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究課題】

課題名：ヒトiPS細胞から膵島の作製と機能を維持する培養方法の開発
研究代表者：東京工業大学　大学院生命理工学研究科　粂　昭苑　教授
助成金額：600万円

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究概要】

1型糖尿病の治療には、膵島移植が有効な治療法ですが、ドナー不足が大きな問題です。そこで、試験管内でヒトiPS細胞からインスリンを産生する膵臓β細胞を作り出す方法と分化した膵臓β細胞を培養する方法を開発します。同時に、ヒトの体内において、膵臓β細胞の分化、膵臓β細胞の量とその機能維持がどのような制御を受けているかについて解析を進めます。得られた成果を培養方法に還元させることにより、ヒトiPS細胞から機能の高い膵臓β細胞を得るための分化誘導方法および、機能を維持するための培養方法の開発を目指すものです。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究課題】

課題名：1型糖尿病に対する再生医療開発のためのiPS細胞由来移植用膵細胞の高効率分化誘導法と純化法の開発
研究代表者：京都大学iPS細胞研究所　増殖分化機構研究部門　長船　健二　教授
助成金額：200万円

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【研究概要】

私たちは、iPS細胞から作った膵臓細胞を移植することによって1型糖尿病を治す再生医療の開発を研究しています。その目標達成のために、iPS細胞から効率よく膵臓細胞を作ることと、膵臓以外の細胞を取り除いて膵臓細胞だけを移植する技術が必要です。本研究では、最近、開発された1つ1つの細胞の遺伝子を調べる技術を用いて、移植用の膵臓細胞だけを見分ける目印となる遺伝子を見つけることを行います。そして、その目印を使いiPS細胞から移植用の膵臓細胞をより効率よく作る技術と膵臓以外の細胞を取り除く技術を開発します。

本採択における選考には、有識者や学識経験者の助言を得て当法人の理事において選考致しました。今回の助成実施により、本基金による研究助成実績は累積件数で20件、金額で3000万円に達しました。

今後も本研究助成を継続して行い、多くの研究者、研究グループの方々の協力のもと1型糖尿病の「根絶」を実現させていく取り組みを進めてまいります。

【本件のお問い合わせ】

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
〒840-0823　佐賀県佐賀市柳町4-13
認定特定非営利活動法人日本ＩＤＤＭネットワーク
電　話　080-5127-2759（理事長携帯）
理事長　井上龍夫
※団体概要は下記のWEBをご参照ください。
http://japan-iddm.net/
事務局：info@japan-iddm.net